令和3年度 昭島市立富士見丘小学校 学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】

	学校教育目標	○ よく考える子ども	ビジョン	【目指す学校像】	職員が組織的に協働して、児童が主体的に活動し、生涯学習の基礎を確実に身に付け、家庭・地域の信託に応える学校
		○ けんこうな子ども○ すすんで働く子ども		【目指す児童・生徒像】	未来の創り手として、自ら考え、創造力・表現力に富み、互いを尊重し人の為に尽くす、心身共に健康で活力に満ちた子供
		◎ 思いやりのある子ども		【目指す教師像】	児童・保護者・地域の願いを受け止め、熱い心と志を持ち、変革に臆することなく、使命と役割を遂行し、結果に責任を持つ教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確	自ら学びに向かい、創造力・表現力に富み、 正解のない課題に納 得解を導く子の育成	主体的に学びに向かう 力の涵養とともに、学 習習慣の確立	「学びのすすめ」「自主 学習ノート」「寺小屋」 の推進等、授業と家庭 学習との連携強化	4 寺小屋…実施回数90%以上 3 寺小屋…実施回数80%以上 2 寺小屋…実施回数70%以上 1 寺小屋…実施回数70%未満	5	4 ¦診断シート…正答率向上30%以上 3 :診断シート…正答率向上20%以上 2 診断シート…正答率向上10%以上 1 :診断シート…正答率向上10%未満	4	○寺子屋の定着充実●推進プラン全面改定	寺子屋により、学力の底 上げと学習習慣につな がっている。	В	振り返りを大切にし、児 童が自ら学びに向かう [学びのすすめ]の定着 に努めます。
かな学力		生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能 の確実な習得	UDやICT、授業スタイルやノートの統一、板書や発問の工夫等、効果的な学習指導	4 教科でのICT活用…90%以上の授業 3 教科でのICT活用…80%以上の授業 2 教科でのICT活用…70%以上の授業 1 教科でのICT活用…70%未満の授業	5	4 診断シート…正答率50%未満10%未満 3 診断シート…正答率50%未満20%未満 2 診断シート…正答率50%未満30%未満 1 診断シート…正答率50%未満30%以上	4	○タブレット効果的活用●探究学習を充実推進	対話型、発展型のスタイ ルはとても賛同できる。	A	探究学習の成果を土曜 の[学習発表授業]で公 開し、表現力を高めま す。
<i>)</i> 3		未知の課題に納得解 を導き、新たな価値を 創造する力の育成	「探求ノート」を活用した課題解決等、自ら考え判断し表現する学習と深い学びの重視	4 探求ノートの活用…年20回以上 3 探求ノートの活用…年10回以上 2 探求ノートの活用…年5回以上 1 探求ノートの活用…年5回以上	4	4 探求ノート…未記入箇所10%未満 3 探求ノート…未記入箇所20%未満 2 探求ノート…未記入箇所30%未満 1 探求ノート…未記入箇所30%以上	4	○学習意欲・習慣向上 ●探究ノート充実改善	児童同士で教え合う機 会は更に増やしてもい いと感じる。	В	全学年の[探求ノート]を 完成させ、6年間で段階 的に探究力を育成しま す。
ath	認知機能を高め、自分 も他の人も尊重し、敬 意をもって大切にでき る心豊かな子の育成	個性を生かし、相互の 信頼関係を深め、自己 有用感の醸成	「h-QU」の結果を生か した児童集会や縦割り 班活動等、異年齢集 団の活動の推進	4	4	4 :社会通念上のいじか…0~5件 3 :社会通念上のいじか…6~15件 2 :社会通念上のいじか…16~30件 1 :社会通念上のいじか…31件以上	4	○楽しく穏やかな学校●自己肯定感の向上	素晴らしい環境の中、切 磋琢磨して自己有用感 を高めている。	В	全ての学年で毎年[学級 編成替え]を実施し、豊 かな関係性を醸成しま す。
豊かな心		認知機能を高め、自他 共に敬意をもって関係 する力の育成	「コグトレ」や学級活動 の工夫による認知機能 や感情統制、やり抜く 力等の重視	4 ;コグトレ…実施率90%以上 3 コグトレ…実施率80%以上 2 ;コグトレ…実施率70%以上 1 コグトレ…実施率70%未満	5	4 : 意欲的にコグトレ…80%以上の児童 3 意欲的にコグトレ…70%以上の児童 2 : 意欲的にコグトレ…60%以上の児童 1 意欲的にコグトレ…60%未満の児童	5	○対人スキルが向上 ●QUのさらなる活用	「コグトレ」を楽しみにし ており、集中力や対人ス キルが向上。	А	週1回の[コグトレ]で社 会性を育てる認知、感 情統制、対人スキル等 を育成します。
		自他を大切にし、よく 生きる、内面に根ざし た道徳性の涵養	問題解決的あるいは 体験を通した発問構 成の工夫、広い視野 で考え議論する道徳	4 考え議論する道徳…実施率90%以上 3 考え議論する道徳…実施率80%以上 2 考え議論する道徳…実施率70%以上 1 考え議論する道徳…実施率70%未満	5	4 自分事として考える…80%以上の児童 3 自分事として考える…70%以上の児童 2 自分事として考える…60%以上の児童 1 自分事として考える…60%以上の児童	4	○自他を認め合う意識●自尊感情の向上	自他ともに認め合い、大 切にし、心に留める子が 育っている。	A	本音で話し合いができる [考え議論する道徳]の 授業展開を工夫します。
健	基本的な生活習慣を 身に付け、運動に親し み、心身共に健康で 活力に満ちた子の育 成	新しい生活様式に基 づき、人の命を守る意 識と行動力の育成	「グッドモーニング60分」 等、家庭との協働を強 化し、感染防止と新し い生活様式の定着	4 健康観察表未記入…1日平均0~2人 3 健康観察表未記入…1日平均3~5人 2 健康観察表未記入…1日平均6~9人 1 健康観察表未記入…1日平均10人以上	4	4 病欠児童…1日の平均0~3人 3 病欠児童…1日の平均4~7人 2 病欠児童…1日の平均8~11人 1 病欠児童…1日の平均12人以上	5	○感染防止の徹底●食育の計画的推進	日常生活や行事ごとの 感染症対策がとても安 心、信頼できる。	A	[お弁当の日]を中心に、 食育を家庭・地域との連 携して指導します。
やかな体		基礎的な体力の向上 と生涯に渡り運動に親 しむ資質能力の向上	「元気アップがイトブック」 を活用した運動習慣に つながる授業の工夫、 家庭との連携協力	4 元気アップの取組…18項目以上 3 元気アップの取組…14項目以上 2 元気アップの取組…10項目以上 1 元気アップの取組…10項目よ流	3	4 運動することが楽しい…80%以上の児童 3 運動することが楽しい…70%以上の児童 2 運動することが楽しい…60%以上の児童 1 運動することが楽しい…60%以上の児童	4	○運動習慣が改善 ●元気UPの充実	せっかくの広い校庭で 遊んでいる子が少なく感 じてしまう。	В	[元気UP]で運動の魅力 や体の成長が実感でき る指導法を工夫します。
14		様々な欲求やストレス 等に対して、適切に対 処できる力の醸成	自殺防止授業の他、 全学年で「SOSカード」を活用した多様な 対処方法を推進	4 相談できる3人記入…児童の90%以上 3 相談できる3人記入…児童の80%以上 2 相談できる3人記入…児童の70%以上 1 相談できる3人記入…児童の70%未満	4	4 大人に相談できる…90%以上の児童 3 大人に相談できる…80%以上の児童 2 大人に相談できる…70%以上の児童 1 大人に相談できる…70%よ満の児童	5	○気楽に相談できる ●SOSの出し方	伸び伸びと笑顔で過ご す生徒が多いといつも 感じます。	Α	家庭と連携し、心と体の 関連性を理解し、適切 に対処できる力を育成し ます。
	新たな価値観や行動を生み出し、協働してませる。	言語能力とともに、未 知の課題に向き合い 思索する力の育成	学校図書館に学習・情報センター機能をもたせ、全教育課程で言語活動を充実	4 図書館機能を活用…全学級月4回以上 3 図書館機能を活用…全学級月3回 2 図書館機能を活用…全学級月2回 1 図書館機能を活用…全学級月1回以下	5	4 話合いができる…80%以上の児童 3 話合いができる…70%以上の児童 2 話合いができる…60%以上の児童 1 話合いができる…60%未満の児童	5	○総合学習単元開発 ●SDGs思索道場	富士見の子たちは学習 にも図書館をよく利用し ているのでは。	А	図書館活用で、言語能 力を鍛え[読書感想文]、 [調べる学習]に挑戦しま す。
輝く未来		情報活用能力ととも に、新たな解を創造す る力の醸成	1人1台の端末やオン ラインの活用など、見 方・考え方を働かせな がら思索する場の充実	4 タブレットの活用…全学級週10回以上 3 タブレットの活用…全学級週6~9回 2 タブレットの活用…全学級週3~5回 1 タブレットの活用…全学級週3回未満	5	4 情報リテラシー…概ね満足80%以上 3 情報リテラシー…概ね満足70%以上 2 情報リテラシー…概ね満足60%以上 1 情報リテラシー…概ね満足60%未満	5	○自分の言葉で思考 ●探求ノートの活用	市内でも先進的にICTを 活用しており、確実に向 上している。	Α	探求的な見方・考え方を 働かせて、[短作文]など で、思索力を養います。
		多様な文化を尊重し、 世界の人々と協調し活 躍できる人材に育成	の活用等、家庭や地域と連携・協働した自己実現への手立ての	4 キャリア・パスポート記入・・・児童の90%以上 3 キャリア・パスポート記入・・・児童の80%以上 2 キャリア・パスポート記入・・・児童の70%以上 1 キャリア・パスポート記入・・・児童の70%未満	4	4 将来のことを考えている…80%以上の児童 3 将来のことを考えている…70%以上の児童 2 将来のことを考えている…60%以上の児童 1 将来のことを考えている…60%未満の児童	3	○縦割り班活動充実●世界を見据えた教育	難題ですが、国際感覚を養うカリキュラムをより 一層期待。	С	計画な目標の下、[音楽 会]を毎年継続し、[SDG s]とも関連して学びま す。